



「布でできた家具」



ブランドロゴマーク

平成23年3月15日(火)
愛知県産業技術研究所
尾張繊維技術センター
担当 加藤、安田
電話 0586-45-7871
愛知県産業労働部地域産業課
技術振興・調整グループ
担当 津本、木津
内線 3360、3361
(ダイヤルイン)052-954-6340

骨組みを使用しない「布でできた家具」を開発しました

—企業グループと産業技術研究所が共同開発、インテリア技術セミナーで発表します—

江南地域におけるインテリア織物の新たな需用創出と地域ブランドの確立を目的に、地元企業、デザイナー、江南商工会議所、および愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センターが参画して「CO-NAN FACTORY プロジェクト委員会」を平成22年5月に設置しました。この委員会では、江南のインテリア織物を活用した製品の開発に取り組み、「布でできた家具」として、椅子、和風パーテーションなど22点の新製品を開発しました。これらは、内部に木材等の骨組みを使用していないため非常に軽い、廃棄の際分別が容易なため環境に優しい、レーザーで加工を行うことにより縫製部がなく見た目が美しいなどの特徴があります。

3月16日(水)に江南商工会議所において開催される「インテリア技術セミナー」において、今回の開発内容の発表と製品展示を行います(参加無料、要申し込み)。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

なお本事業は、日本商工会議所の平成22年度小規模事業者新事業全国展開支援事業(地域資源∞全国展開プロジェクト*)の助成により実施しました。

1 「布でできた家具」の概要

(1) フレームレス家具

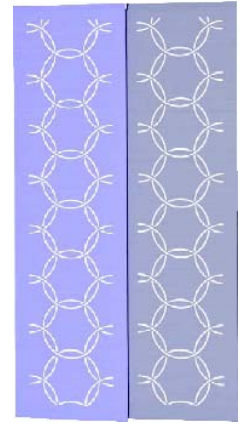
ウレタンやビーズを使うことで、木材などのフレームを使わず、軽くて持ち運びが容易な椅子やベッドを開発しました。また、カバーを取り外すだけで簡単に分別できるため、廃棄も容易です。生地には江南特産の先染ジャガード生地を使用することにより、高級感を持たせました。

(2) 和風パーテーション

空間を間仕切りで仕切る日本の文化に着目し、「和風パーテーション」を開発しました。和モダン柄の生地をベースにレーザー等で切り抜き、接着加工を行うことにより、縫製部のない、見た目が美しいパーテーションができました。



(1) フレームレス家具(椅子、ベッド)



(2) 和風パーテーション

2 インテリア技術セミナー(詳細はチラシをご参照ください)

- ・日 時 : 平成23年3月16日(水) 午後1時から午後4時まで
- ・場 所 : 江南商工会館(江南商工会議所) 1階ホール
江南市古知野町小金112番地 電話:0587-55-6245
- ・参加料 : 無料

3 問い合わせ先

愛知県産業技術研究所 尾張繊維技術センター

- ・担 当 : 加藤、安田
- ・所在地 : 一宮市大和町馬引字宮浦35
- ・電 話 : 0586-45-7871

4 CO-NAN FACTORY プロジェクト委員会について

(1) 事業体制

- ・委員長 : 株式会社ホリバ 代表取締役社長 堀場正男
- ・管理事務 : 江南商工会議所
- ・参加企業・機関
 - ① インテリア織物生地メーカー : 7社
 - ② 縫製・レーザー加工業者 : 2社
 - ③ テキスタイル・椅子デザイナー : 2名
 - ④ 技術支援 : 愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センター

(2) 事業目的

江南の地域資源であるインテリア織物を活用した独自製品の開発と地域ブランドの確立による地場産業の活性化。

(3) 事業内容

① 独自製品の開発

- ・生地には産地の特徴を出すため、主に先染ジャカード織を採用
- ・新しい加工技術やアイデアによる製品の差別化
- ・展示会出展による市場評価のフィードバック

② 地域ブランドの確立

インテリア織物と江南の地域性を象徴したブランドロゴマークを製作し、製品へ貼付することで、消費者市場への産地PRを行ないます。

③ 試作品に改良を加えるための市場評価

「インテリアライフスタイルリビング」(インテリア製品の全国的な展示会)へ出展

平成22年11月24日(水)～26日(金) 東京ビックサイト

来場者数:19,758名 出展社数:314社

【用語解説】

※ 日本商工会議所の平成22年度地域資源∞全国展開プロジェクト

商工会議所が地域の小規模事業者等と協力して行う地域資源を活用した特産品開発や観光開発などの取組に対し、日本商工会議所が補助を行うもの。